



1.「亀岡家のひなまつり」。歴史ある貴重なひな人形を見られるほか、資料館ではワークショップも実施中(3/15 @まで) /2.「亀岡家のひなまつり」では折り紙のつるし飾りも展示 /3.まちの駅やながわには見えて楽しいつるし雛もたくさん! /4.ふるさとふれあいホールを囲うたくさんの方のつるし雛に圧倒されます!

# 「なによりうれしい ひなまつり」

「ひな祭り」は、女の子の健やかな成長を祈る節句の年中行事です。市内各地では3月3日の桃の節句に向けて、ひな人形やつるし雛が展示されています。保原町の旧亀岡家住宅では、江戸時代から現代までのおひなさまが展示されており、ひな人形の歴史を感じることができます。また、まちの駅やながわや月館総合支所ふるさとふれあいホール(1階)では、それぞれの地域住民が作成したかわいらしいつるし雛などの展示を楽しむことができます。

# 立志式

「立志式」は、日本古来の「元服」の儀にならない、数え年で15歳となる中学2年生を対象に、将来の決意や目標を明らかにし、大人としての自覚を深める目的で、毎年開催しています。  
今年度は1月28日～2月13日の間、各中学校ごとに実施され、市内中学2年生406人が、気持ちを新たに、大人への第一歩を踏み出しました。



各中学校ごとに、立志証書の授与や「誓いのことば」、市歌斉唱などが行われました。